

新生児臨時給付金の対象拡大は



公明党議員団
乾 秀子

誕生し子育てをされている世帯の労苦に鑑み、ぜひ実施していきたいと考えている。

問 地方創生臨時交付金を活用した新規施策として、利用者の衛生意識の高まりを考慮し、市の図書館等に本の除菌機の設置は、

問 コロナ禍の影響で生活困窮に関する相談も多く、引き続き地方創生臨時交付金を活用し、実情に沿った生活者支援が必要。

答 感染拡大予防ガイドラインでは返却本の一定期間の隔離保管が示されているが、場所の確保や利便性低下等の課題があるため、現在、図書館・コミセン図書室を合わせ毎日1000冊以上の返却本を職員が手作業で拭き取り除菌を行っている。利用者の感染リスクを減少させる上で除菌機は必要と認識しており、導入設置に向け検討している。

答 議会からも要望を受け、子育て支援施策としてのような支援が必要か検討を重ねた結果、不安な日々の中で赤ちゃんが

市役所に市民ギャラリー設置を



公明党議員団
増田 貴

の情報提供を行い、各自治会の相談に対応すること等も検討する。

問 市役所庁舎の有効活用を図るため、これまで請願もされている市民ギャラリーコーナーを本庁舎1階に設置できないか検討を。

問 本市の自治会加入率は低下を続けており、さまざまな問題を抱え運営が大変厳しい状態である。校区連合会長を通じて各自治会の連携を図り、それぞれの対応を話し合う中で問題点を見極め、解決策を協議していくべきだが考えは。

答 市民の文化芸術の発表・展示の場として文化の香り高いまちづくりに寄与するものであり、平成29年にギャラリー設置を求めた請願が採択されたことから、市として設置に向け検討すべきと考えている。現状では設置スペースの確保や展示ルール等の課題もあるが、庁舎耐震補強工事が完了し備品等の配置が固定化できたことから、再度配置を工夫するなどして検討を進めたい。

答 大変効果的な取り組みであり、自治会長のなり手不足、地域により抽選で連合会長を選んでいる現状や負担低減なども加味しながら、よりよい方法を検討していきたい。また各自治会の問題点を把握については、アンケート調査やその結果

障がい者の短期入所先確保は



日本共産党議員団
若山 憲子

障がい者の家族が新型コロナウイルスに感染した場合に、一時的に監護を任せられる場所を求める声を聞く。障がい者についても緊急のショートステイの受け入れ先を確保するなどの支援を。

問 コロナ禍の影響で国民健康保険料の市民負担が重くなる中、令和3年度予算において、国民健康保険財政調整基金を使い保険料を年間1世帯1万円引き下げるために必要となる金額は。基金を活用し、保険料の引き下げを。

問 コロナ禍の影響で国民健康保険料の市民負担が重くなる中、令和3年度予算において、国民健康保険財政調整基金を使い保険料を年間1世帯1万円引き下げるために必要となる金額は。基金を活用し、保険料の引き下げを。

答 障がい者の家族が新型コロナウイルスに感染した場合に、一時的に監護を任せられる場所を求める声を聞く。障がい者についても緊急のショートステイの受け入れ先を確保するなどの支援を。府が公表する以外の情報はなく、特定個人の感染状況は把握できない状態にある。一般的にこれまでに家族の入院等で監護を要するときには、障がい福祉サービス事業所等と協力連携して緊急的な入所場所を確保するなどの支援を行っている。新型コロナウイルスの場合は基本的に府が対応することになるが、市に協力要請があれば連携しながら必要な支援は行えるものと考えている。

答 被保険者が約1万1000世帯あり、単年度で約1億1000万円必要となる。今後毎年この額を基金から取り崩すと7年で枯渇し、それ以降は逆に保険料を引き上げざるを得なくなり、被保険者に大きな負担を強いることになる。